



庶民の会
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

公共施設の総合的な再編

Q 学校施設と公民館施設は共通した機能が多く、持続可能な公共施設の維持管理を考える上で総合的に考える必要があるのでは？

A 四小と杉谷公民館の併設型の優良例もあり、学校敷地内の併設型も含め学校校舎内に造るのがいいのか、研究する必要がある。四小では学校調理場を地域へ開放する方向で進んでいる。

ウィズコロナ

Q 地域の中でお金を滞留させる目的で、プレミアム付商品券の地元券を発行する自治体が増えているが、検討はされたのか？

A 地元券の発行は従前から検討しているが、生活者支援の観点から共通にした。3割強は市内に本店がある事業所で使われており、市民の使い勝手もみながら幅広く検討させてほしい。

Q ①学校給食の現状は、コミュニケーションが取れないなど負担をかけていないか？②給食費無償化の財源としてごみ減量化で削減した経費を運用できないのか？

A ①国からの通知では黙食は必要ないとなっているが、感染症が流行している場合は会話を控えるなどの措置を行っている。徐々に会話を増やしながらかやっていると給食に戻していければと考えている。②子供たちの未来のための財源として検討したい。

市民の声

Q ランドセルは1月ごろから準備をされるので、時期を早めるために補正予算等で対応する工夫と、「とるっと」などを利用した周知を図っていたきたい。

A 補正予算や債務負担行為と組み合わせるなど予算については工夫してみたい。次年度以降は、展示場所を増やすなど検討したい。

【その他の質問項目】

- ◇学校の再編計画
- ◇地域経済の現状と今後の対策
- ◇マイナンバーカードの可能性
- ◇道路の安全
- ◇道の駅
- ◇広馬場埋立地の有効活用
- ◇サイクリングロード



カラフル
ほんだ みえ
本田 みえ 議員

市民が参加しやすい選挙をめざして

Q なぜ、投票日の投票時間が2時間短くなったのか？

A 期日前投票所の投票率が増え、有権者への影響は少ないなどといった理由から選管において決まった。

Q 前回と今回の投票率の比較は？

年代	男 (%)	女 (%)
10	△ 7.06	△ 4.98
20	△ 10.66	△ 6.53
30	△ 9.60	△ 9.09
40	△ 7.66	△ 7.96
50	△ 10.24	△ 10.06
60	△ 7.05	△ 8.26
70	△ 7.38	△ 4.94
80	△ 5.06	△ 5.17

全体平均△ 7.12%

Q 全体平均より下げ幅が大きいのは、働いている年代。時間を短くする前に改善すべきことがあったのではないか。無効になった投票用紙は何票？

A 184票で投票総数の1.16%。白紙投票、候補者以外の者の氏名が書かれていた票など。

Q 電子投票の検討はしたのか？

A 検討していないが平成28年以降、全国でも実施されていない。マークシート方式は？

三会出張所閉鎖後の対応

Q 行かない窓口の検討は？

A 市全体において、高齢者のための施策を考えていきたい。

小中学校再編（素案）

Q 通学距離が広がるが、今後はどうになるのか？

A スクールバス等も検討する。

Q 若い夫婦が住みたがるのは、学校の近く。学校に遠いところは過疎が進む。地域の中で小中一貫校を。

A 各地区にそういった思いを酌んでいくと再編計画はできない。子供たちの教育に資する再編であるように検討したい。

高齢になっても安心して暮らせる島原を

Q 市独自の高齢者支援はあるのか？

A 少子化対策と併せて、高齢者の生活の在り方は、大きな課題と認識している。

【その他の質問項目】

- ◇こどもの貧困対策は現物支給で